

## コロニアルクアッド

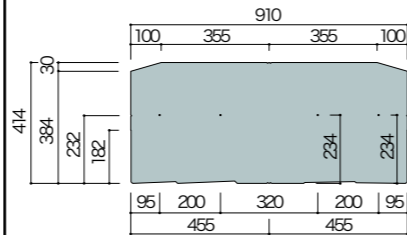
不燃材料認定番号 NM-9567



### どんな街並みにも美しく映える、ロングカットデザイン



#### ■本体仕様及び本体形状図



寸法： 910×414mm  
 働き寸法： 910×182mm  
 厚さ： 5.2mm  
 1枚の重量：約3.4kg  
 梱包入数： 8枚

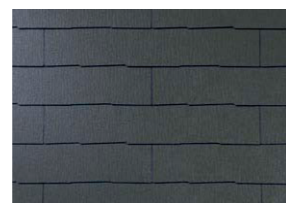
#### ■カラーバリエーション



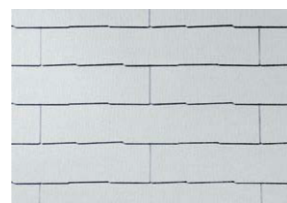
ココナッツ・ブラウン  
CC221W



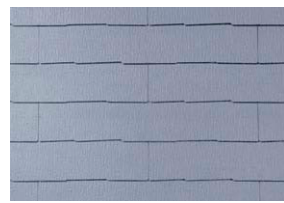
ウォルナット・ブラウン  
CC241W



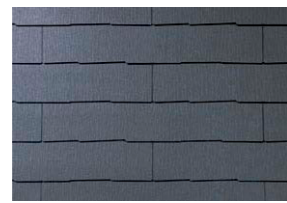
ネオ・ブラック  
CC262W



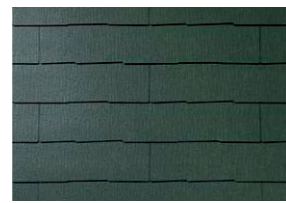
シルバー・ホワイト  
CC225W



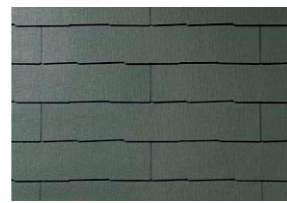
アイス・シルバー  
CC235W



パール・グレイ  
CC275W



アイリッシュ・グリーン  
CC247W



ウェザード・グリーン  
CC277W

※写真は印刷色のため実際と色合いが多少異なります。色合わせにはサンプルをご活用ください。

## 地震から、まもる。

地震の強い揺れに有効な、「軽い屋根」です。

建物の揺れは、屋根を軽くして、建物の重量を軽く、重心を低くすることで、大幅に抑えることができます。屋根を軽くすることは、地震に対してしっかり踏ん張る「耐震構造」はもちろん、地震の揺れを建物に伝わらないようにする「免震構造」の建物にも有効なアプローチです。



●KMEWがご提案する「屋根で減震」  
 軽い屋根による減震効果。そのメカニズムや施工例などを紹介したホームページを開設しています。屋根材選びのご参考に、ぜひ一度アクセスしてください。

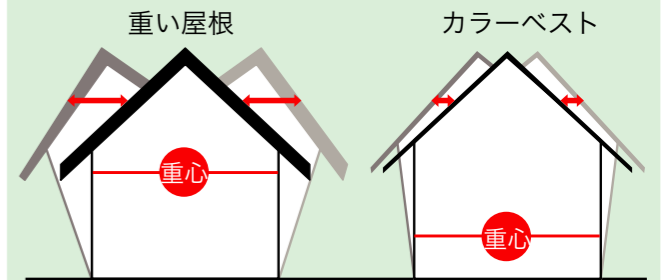
<http://www.karuiyane.com/>

カラーベストは、屋根瓦の約1/3の軽さ。

たとえば、粘土瓦の場合、坪当たりの重量が約180kgになるのに対し、カラーベストの重量は粘土瓦の約1/3という軽さ。建物全体の重量を軽くするとともに、重心を低くし、建物に安定感を生み出します。

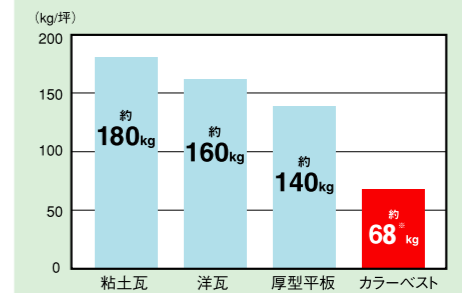
※カラーベストシリーズ

#### ■地震時に建物にかかる負荷（イメージ）



- 地震による建物への負荷は、建物の重さに比例して増大
- 特に屋根が重いと重心が高くなり揺れは大きくなる。

#### ■各種屋根材との重量比較



## 劣化から、まもる。

高密度で均一な構造が、性能を長期間維持します。

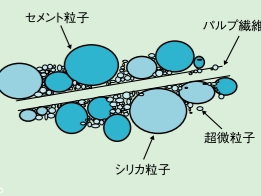
KMEW屋根材の基材は、高密度で均一な構造。吸水性が低いため、そり、あばれ、伸縮が極めて少なく、乾燥・湿潤の繰り返しや温度変化による影響を受けにくいのが特徴です。

#### ■カラーベストの長期物性

|               | 出荷時  | 5年経過時 | 10年経過時 | 15年経過時 | 20年経過時 | 28年経過時 | 35年経過時 | 測定方法 |
|---------------|------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|------|
| フルサイズ曲げ荷重 (N) | 218  | 217   | 221    | 223    | 215    | 214    | 211    | 当社規定 |
| フルサイズたわみ (mm) | 14.8 | 14.9  | 14.2   | 13.8   | 14.6   | 13.8   | 14.2   |      |
| 吸水率 (%)       | 13.7 | 13.7  | 13.9   | 13.3   | 13.8   | 11.7   | 12.4   |      |

30年を経過しても性能はほとんど変わらない

#### ■高密度なカラーベストの構造

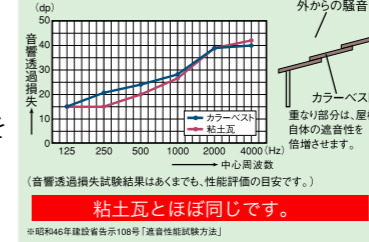


## 騒音から、まもる。

施工後は板厚が上がり、音の透過を抑えます。

KMEW独自の施工法により、重なり部分が屋根面の大部分を占めるため、高い遮音性を発揮。一般的に、遮音性に優れた屋根材といわれている粘土瓦をほぼ同等の性能です。

#### ■音響透過損失試験結果



## 衝撃から、まもる。

繊維補強で強度を強め、破損を最小限に抑えます。

基材の緻密な構造により、優れた耐衝撃性を発揮。耐衝撃性試験の結果でも、表面の塗装の剥離やクラック(ひび割れ)、表面の陥没、裏面の膨れなどを確認することはできませんでした。

## 熱から、まもる。

屋根の重なりが、優れた断熱性を発揮します。

一枚一枚の重なりが多く、平均板厚が大きくなるため、優れた断熱性を発揮。暑い夏は太陽の輻射熱から住まいをまもり、寒い日には住まいの内部からの熱を逃しません。

#### ■熱伝導率試験結果

| 屋根材       | 種類 | 熱伝導率 (kcal/mh <sup>2</sup> °C) | 熱抵抗 (m <sup>2</sup> h <sup>2</sup> °C/kcal) | 突き上げ状態の平均板厚 (L) |
|-----------|----|--------------------------------|---|-----------------|
| カラーベスト    |    | 0.4                            | 0.023                                       | 10.7×10         |
| 粘土瓦       |    | 0.8                            | 0.0225                                      | 18.0×10         |
| 金属屋根 (銅板) |    | 50.4                           | 0.000012                                    | 6.0×10          |

※上表値は、空気層や野地板を含まない屋根材だけのものです。(熱伝導率試験結果はあくまでも、性能評価の目安です。)

粘土瓦と同等以上の断熱性です。

## 火災から、まもる。

火災でも燃えにくい、不燃材料認定の屋根材です。

KMEW屋根材は、すべてが国土交通大臣の認定番号を取得した火災に強い屋根材です。また、不燃下地を用いた屋根仕様とすることで、屋根30分耐火構造もクリアします。